

令和元年度 第2回岩美町廃棄物減量等推進審議会 議事概要

1. 日 時 令和2年3月26日（木）午前10時00分～午前10時40分

2. 場 所 岩美町役場 1階 庁議室

3. 出席者 【委員】 9名
【事務局】 3名

4. 概 要

○開会 諸般の報告について

・欠席した委員と遅参する旨の連絡があった委員の報告

○会長あいさつ

<会長>

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中ですが、お集まりいただきありがとうございます。活発に議論いただきながらも短時間で終わらせたいと存じますのでご協力をお願いします。

○議事進行

<会長>

議題1 ごみ処理の現状について事務局は説明を。

<事務局> 説明

(1) 可燃ごみの処理量の推移 委託収集分（一般家庭から排出されるごみと1回の排出量が30kg以上で町に届け出のあった事業所ごみ）で、一般家庭と事業所のごみを厳密に分けて計測することはできないため、ごみ袋の販売実績に基づきそれぞれの排出量に応じ按分計算した数値を提示。それによると昨年度より家庭ごみは若干減少したと推測されるが、事業所ごみは増加。全体的にはここ近年、右肩上がりに増加と説明。

(2) 不燃ごみの処理量の比較 昨年度対比で資源ごみ（ビン、缶）やプラスチックごみ等は横ばいであるが、大型資源ごみ、小型破碎ごみが増加していることを説明。

●ごみが減らない理由の分析説明

・年度後半も布団の処理量が顕著に増加していること、大型資源ごみも昨年度対比10t強の増加及び小型破碎ごみが増加していることから、家（空家、空家予備軍）の中の整理、処分をしていると分析（特に古くてリユース、リサイクル

ができない物が多いと推測している)。

- ・家の解体に伴う一般廃棄物（畳、襖等）の処分の増加と分析
- ・高齢化の進行に伴うごみの増加（食品ロス、紙オムツ等）と分析

<会長>

続いてごみの減量対策について事務局は説明を。

<事務局>

- (1) コンポスト、生ごみ処理機購入費補助制度等実施状況について 3月16日現在でコンポストは4件で昨年度対比2件の減であるが、生ごみ処理機は5件で、昨年度対比4件の増となっていることを説明。
- (2) 資源回収等の推移 本年度の回収量は昨年度と同量
- (3) 夏の特別生ごみ収集 町内7事業所、13日間で162kgの減
- (4) 事業所訪問、地区訪問、学習会による啓発
- (5) CATV放送利用による分別、リサイクル推進啓発

<会長>

事務局からごみ処理の現状と減量対策について説明がありました。委員の皆様はご意見をお願いします。

<委員>

CATV放送の内容はわかりやすかった。いい取り組みだと思うのでこれからも積極的に行ってほしい。

<委員>

男性の料理教室に出向いてごみ減量の啓発活動を行ったのは良かった。参加者の中にはミックスペーパーの分別について初めて聞いたという方がおられた。すぐには分別の仕方が十分わからないかもしれないし、分別、リサイクルの意識を根付かせるためにも定期的に行った方がよい。

<委員>

ごみに関する学習会は要請すれば開催してもらえるのか。

<事務局>

老人会、婦人会など、学習会にお招きいただければ、ごみ処理の現状や適切な分別についてお話をさせていただきます。

<委員>

CATVで紹介していた生ごみの水切りグッズより、破れたストッキングに入れて水を絞る方がよく切れる。そのような方法も紹介してみてもは。

<事務局>

今回は比較的簡単な水切り方法を紹介しました。広報3月号に掲載している内容も同様です。破れたストッキング等の利用は、廃棄物の有効活用かつ生ゴミの水分減量という付加価値の高い取り組みです。大変ありがたいです。今後、CATVあるいは広報記事などに、取り組み事例を何件か挙げて、放送、掲載などをしてみたいと思います。その中で見てくれた方が自分に合った水切り方法を選んで実践して下さったら大変うれしく思います。

<委員>

事務局から家の中の整理と思われると説明があつたが、自分にも当てはまると実感している。いわゆる終活だと自分では思っている。元気なうちに亡くなった家族の分も含め、使わなくなった物は整理したいと思っている。

また本町は昔民宿がたくさんあつたので、そのころの物を現在始末している家庭もちょこちょこあるのではないかと、近所や友人との会話からでも思うところである。

<会長>

そのほかご意見は。

<委員>

ボランティア団体の清掃によるごみ袋が路上に並んでいることがある。清掃は非常にありがたいことだが、ごみ袋が並んでいるところに勝手に自分のごみを捨てて帰る人がいる。迅速な撤去やごみ袋の置き場所の検討をお願いしたい。

<事務局> 団体との打ち合わせを行います。

<会長>

次の議題のその他に移ります。事務局からは何かありますか。

<事務局>

前回の審議会で選考していただいたポイ捨て・不法投棄防止ポスター、イラストコンテスト優秀作品による啓発看板ができあがりしました（実物を披露）。町内に設置します。

<委員>

このほかに不法投棄対策を何か検討しているか。

<事務局>

自治会や鳥取市等と協議し、町内の不法投棄が多い場所にカメラを設置することを検討しています。

<会長>

本日の意見を集約します。ごみ減量とリサイクル意識の高揚を図るために、より積極的な啓発活動を行うことを本会の提言とします。

○その他 なし

○閉会